

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	じらふ長居		公表日 年 月 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	個別療育では同時時間帯では2組の療育を行い、1人ずつ職員を配置しています 集団療育では2～5組で実施し2～3人の職員を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	子どもの状態に合わせて、個室の利用やパーティションを活用しながら対応しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	療育の前後にミーティングを行い、職員間で情報を共有しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	毎年、法人アンケートを実施し、いただいたご意見を職員間で共有し、改善点などを話し合っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	療育の前後にミーティングを行い、療育の際の困りごとなどを振り返り、支援の方法を話し合う機会を設けています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50%	25%	現在、実施していません	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	保護者絵研修動画の視聴や、職員間での支援に関する研修の開催。法人研修の受講を適宜実施しています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	個別療育、小集団療育、コミュニケーション支援についてのプログラムをホームページやメッセージアプリ内で公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。【放デイも含む】	100%	0%	保護者からの聞き取りと、NCプログラムを使用したアセスメントを実施しています。 アセスメントに基づき、子どものニーズに合わせた支援計画の作成をしています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。【放デイも含む】	100%	0%		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。【放デイも含む】	100%	0%		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	NCプログラム、CLMプログラム、特性シート、重要な9つのコミュニケーションチェックリストなどを用いてアセスメントしています	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。【放デイも含む】	100%	0%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	毎日のプログラムを職員間で共有し、プログラム実施について話し合う時間を設けています	

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	使用するプログラムは固定していますが、遊びの内容は目的に応じて、毎回違うものを提供しています
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。【放デイも含む】	100%	0%	療育毎に保護者と面談し、必要に応じて支援計画内容の変更、半年に1回の見直しを行っています。
24	【放デイのみ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	100%	0%	
25	【放デイのみ】こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	75%	0%	
28	【児発のみ】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	
29	【放デイのみ】学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	
30	【児発のみ】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	
31	【放デイのみ】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	75%	25%	保護者を介して、園での様子をまとめた書面での引継ぎや、情報共有を行っています。また必要に応じて園に訪問し様子の聞き取りを行っています。
32	【放デイのみ】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	75%	25%	専門療育修了後次のステージに移行するための引継ぎ資料を個別で作成、提供しています
33	(28～30は、センターのみ回答)			
	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
34	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
35	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
36	(31は、事業所のみ回答)			
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	50%	25%	
37	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	25%	75%	
38	【放デイのみ】放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	25%	75%	

	39	【放デイのみ】（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	75%	0%		
	40	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	じらふノートや、利用毎の面談にて課題や支援方法の共有を行っています。	
	41	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	専門療育の保護者研修のほか、オンラインでのミニセミナーを開催しています	
保護者への説明等	42	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	利用開始前の説明会や、契約会での説明を行っています。	
	43	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。【放デイも含む】	100%	0%	保護者のニーズだけではなく、こどもの強みを活かせる支援を実施できるよう聞き取りを行っています。	
	44	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。【放デイも含む】	100%	0%		
	45	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	適宜メッセージアプリや電話を活用しながら、ご相談をいただき、必要に応じて支援ツールの提案、提供をさせていただいています	
	46	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	月に1回程度、保護者懇親会を開催し、保護者様同士の意見交換の場を提供しています	
	47	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	48	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	会報はありませんが、法人の会報への掲載や、適宜SNSを活用して活動の様子を発信しています	
	49	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	50	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	メッセージアプリを活用して療育相談や、じらふノート（連絡帳）に記入していただき療育中に面談時間を確保するなどを行っています	
	51	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%	地域支援事業として、子育て広場を毎月実施しています。	
非常時等の対応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%		
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	75%	0%		
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	75%	0%		
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		

60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。【放デイも含む】	75%	0%	身体拘束適正化についての書面を配布しており、手添えによる支援についても、説明させていただいています
----	--	-----	----	---